

新たな府民意見について(主なご意見)

資料 4

総件数 10,973件(平成23年3月14日～11月30日分)
 前回以降の件数 187件(平成23年11月18日～11月30日分)
 メール、ホームページ問い合わせシステム : 73件
 電話 : 110件
 FAX : 2件
 郵送 : 2件

※ 太字は前回以降の新しいご意見

◆反対意見: 185件

	(件)
受入、復興支援について	80
<ul style="list-style-type: none"> 近隣府県にも影響を及ぼすため、意見を聞くべき 他の復興支援を考えるべき (被災者の受入と雇用、安全な食物の供給、処理施設増設のための資金や人材の投入等) 東電の責任で福島第一原発周辺で処分すべき 国は福島警戒区域の土地を買収を検討し始めているためその土地で処分すべき 知事が変わったので、受入するかどうかという立場に戻るべき 	
放射性物質、放射性物質に汚染された廃棄物の安全性について	69
<ul style="list-style-type: none"> 受入をはじめた東京都では放射線量が上がっている(一般の方が測定) 宮城県の一部の地域の災害廃棄物は焼却すると国の基準値を超える可能性がある(11月25日、時事通信) 放射性セシウムは強い結合があり、除染しても容易に除去できない 放射性物質は一度拡散すると回収することができない 前例がないのに安全と言い切ることはできない セシウム以外の物質は計測の状況が公表されていないため、汚染が把握できていない 横浜市でストロンチウムが検出されているのにセシウムだけを対象とするのはおかしい クリアランスレベルを判定する際は、100ベクレルの1/10レベルまで検出できる測定方法をとるべきである。 	
検討会議、処理指針について	59
<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物の処理だけでなく、原発事故によって危険性が増した食品の内部被ばく等もすべて足し合わせて1mSv/年以下になるようにすべき 内部被ばくは外部被ばくよりも危険性が高いため、慎重に議論すべき 低濃度であっても何万トンも受け入れれば多量の放射線を受けることになるため、総量で考えるべき 暫定基準値でなく震災前の基準で検討すべき、震災後に引き上げられた基準値をもとにしか検討できないのであれば信用できない クリアランスレベル(10μSv/年)以上の災害廃棄物は受け入れるべきでない 子どもや東北から避難してきた人については特に慎重に検討すべき 車両に付着してくる放射能等の細かい部分もシナリオに入れるべき 尿検査等を実施して現在受けている内部被ばくの状況を把握すべき 国の発表した数値だけでなく、府自ら測定を実施すべき 反対派の有識者や住民代表、チェルノブイリで実際の状況を見た人等の幅広い意見を聞くべき どの程度なら許容できるのかについてのみ検討するのではなく、想定されるリスクについても議論し対策を考えるべき 	
住居・食物について	44
<ul style="list-style-type: none"> 被災地や関東から避難してきた人から安心できる生活を奪うことになる 被災地や関東に安全な食物が供給できなくなる 関西でも風評被害が出る 	
健康被害について	37
<ul style="list-style-type: none"> 受入をはじめた東京都ではすでに健康被害が出ている 子どもの健康が心配、安心して子育てできない 放射能の影響が出るのは何年先か分からない、晩発性障害が懸念される すぐに発病したり即死しないからといって安全とはいえない 	
処理処分について	33
<ul style="list-style-type: none"> バグフィルタ等で処理しても完全に除去できない、水蒸気といっしょに出る可能性があるという話もある 放射能を除去できる高性能なバグフィルターはすべての施設に設置することは可能なのか 福島県広野町で無酸素状態で熱処理セラミックスに閉じ込める施設で実証実験されたが、その方法について検討してはどうか(11月27日、NHKニュース) 自然災害や処理施設の故障等の緊急時の場合の対策についても議論すべき 既存の最終処分場では放射能の影響がなくなるまで耐久年数がもたないのではないのか 作業員の人権侵害にあたる 	
情報公開、周知について	31
<ul style="list-style-type: none"> 周知不足である、現在の方法以外も検討すべき (府政だより、マスコミ、動画配信、市や自治会への説明会等) 受入は府民の意見を聞いて決めてほしい、反対意見が1万件以上あるのに受入を前提に議論を進めるのはおかしい 放射能汚染の有無に関わらず災害廃棄物を受け入れる際には事前に住民説明会を行う等広く周知すべき 処理の周知の方法についても考えるべき(場所、時間等) 	
国の基準や報道について	18
<ul style="list-style-type: none"> 国はどんどん基準を緩くしており信用できない、日本の基準は緩すぎる 報道されている値は信用できるデータなのか、国が発表しているデータと住民が測定したデータでは違った数値が出ている 国はまだ汚染の事実を隠しているのではないのか 	
責任について	3
<ul style="list-style-type: none"> 将来にわたって健康被害が出た場合についても責任を負うことができるのか 不動産等の資産価値が下がった場合は補償が出るのか 	
その他	18
<ul style="list-style-type: none"> 外国との関係に悪影響がある 	

◆賛成意見: 2件(条件付きの意見も含む)

主な内容	
<ul style="list-style-type: none"> 復興のために広域処理に協力してほしい(岩手県の住民) 基準値以下の災害廃棄物を受け入れて復興の手助けをすべき 	2